

## ■第14回クリスマスライブ

ロックからアコースティック・ギターの弾き語りまで。アマチュアミュージシャンによるライブを開催。全出演者がクリスマスソングも披露します。

**日時** 12月18日(日) 13:00開演 **入場料** 無料  
**場所** コスモホール (情報文化センター)

※先着100人にクリスマスプレゼントを用意しています。

**問い合わせ** 情報文化センター (☎44-5000) へ

## ■年末年始休館のお知らせ

**市民会館** 12月29日(木)～平成24年1月3日(火)  
**夢ホール (文化会館)**

12月28日(水)～平成24年1月4日(水)

**コスモホール (情報文化センター)**

12月29日(木)～平成24年1月3日(火)

**阿波公方・民俗資料館**

12月29日(木)～平成24年1月3日(火)

**問い合わせ**

市民会館 (☎22-7000)

文化会館 (☎21-0808)

情報文化センター (☎44-5000)

阿波公方・民俗資料館 (☎42-2966) へ



市の文化事業や歴史などを紹介します

## ■第14回徳島県民文化祭共催事業 第9回夢ホールコンサート

県内外で活躍する演奏家の公募コンサートです。  
多彩な演奏をお楽しみください。



**日時** 12月10日(土)・11日(日) いずれも14:30開演

**場所** 夢ホール (文化会館)

**入場料** 500円 (2日とも入場可)、高校生以下は無料。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※無料託児室あり。

(1週間前までにお申し込みください。)

**チケット** 文化会館、市民会館、情報文化センターほか  
※出演者の中からオーディエンス賞を決定し、来春開催予定のロレアコンサートに出演していただきます。ご来場の皆様が審査員です。

**問い合わせ** 文化会館 (☎21-0808) へ

## 文化関係書類頒布のお知らせ

次の書籍を頒布しています。  
必要な方はご利用ください。

**文化振興課** (文化会館内 ☎22-1798)

阿南市の指定文化財・巨樹マップ 5000円  
阿南市の文化財 2千円

**阿波公方・民俗資料館** (☎42-2966)

まんが「阿波公方―阿波の足利―」 1千円

平島公方史料集 3千円

訳注「棲籠閣詩集」 4千円

那賀川町史(上・下巻) 各5千円

村史平島 3千円

今津村史略 3千円

## 皆既月食観望会(有料)

12月10日に皆既月食が日本全国で見られます。見やすい皆既月食としては平成19年8月28日以来、約4年ぶりで、次に見られるのは平成26年の10月8日です。

科学センターではこの珍しい皆既月食の観望会を次のとおり実施します。

なお、悪天候時は中止とします。

**日時** 12月10日(土)

午後9時30分～午前1時30分

**内容** 皆既月食についてのお話と、天体望遠鏡を使つての月食観望

**参加方法** 当日、開始時間までに科学センターにお越しください。

**参加料** 大人300円、高校生250円、小・中学生200円、幼児無料



メールアドレス science@ananscience.jp

# 阿南市の文化財

阿南市文化財保護審議会

会長 湯浅良幸

## 余談・「阿南市史」

先号で「竹原庄」について書いた。思わぬ反響があった。専門家にとつて常識であつても専門外の人には初めて知つた事柄であつたようだ。

ある人は、南島の歴史について知りたいと尋ねられた。それは、南島八幡神社の祭礼になぜ羽ノ浦町岩脇、宝田町立善寺から三台ものダンジリを曳いてきたのか不思議に思つていた。しかし、竹原庄の記事を見て理解出来たことだった。

さて、南島村に比べ岩脇村は大村であり、立善寺村は古代県南屈指の大寺院隆禪寺がある。同寺は、八杵神社を管理する別当であり、竹原庄の地頭職を代行した時代もあつた。



其の69



旧土佐海道沿いの一里松跡と岡山（上中町）

南島村がかつて竹原庄の重要な地であつたからこそ南島八幡神社祭礼に岩脇、岡、中原、立善寺四カ村の氏子が参加したことは納得がいく。

実は「阿南市史」(第一巻)「庄園」を執筆したのは筆者である。そこで「阿南市史」の夜明けに属することを書いておきたい。なぜかといえどスタート時、市史編さんの企画、執行に携わつた人物は筆者を除いてすでに鬼籍に入られているからである。

「阿南市史」第一巻(原始、古代、中世編)が発行されたのは、昭和六十二年三月一日である。

編集後記で二代目室長木本 勝氏は、「市史編さん事業が始まつたのは昭和五十五年度である。通史三巻・民俗編一巻・史料編一巻、計五巻を予定していた。」と書いている。ここには書かれていないが十九年で完了することになつていた。

第一巻は吉見哲夫(主任)、湯浅良幸、井上良雄、小原 亨が当たつた。いわゆる監修者は置かず、上記四人が専門委員として企画から執筆者の選定、監修を行うこととした。主任も第二巻井上良雄、第三巻小原 亨、第四巻湯浅良幸に決定していた。

しかし、前述したように井上、吉見、小原氏は編さん事業途中他界された。筆者も編さん方針の大幅変更を機に、編さん委員、専門委員を辞任した。

このため編さん作業は大幅に遅れたが、現在も編さん作業は続いている。(終わり)

## わくわく科学の広場(無料)

子ども向けの科学遊びを中心とした催しです。実施時間はいずれも午前10時30分～正午、午後1時30分～3時です。

### 実施日とテーマ

- 12月23日(木) 「ビー玉を使ったコマを作って遊ぼう」
- 12月25日(日) 「ものが見える見えない」
- 12月27日(火) 「磁石を使って魚釣りのおもちゃを作ろう」

## おもしろ科学実験(無料)

科学の原理や不思議さなど、実験を通して楽しく学んでいただきます。毎週土・日曜日の午前11時と午後2時、冬休み中の平日午後2時から実施しています。

## 夜間天体観望会(有料・要予約)

113センチ大型天体望遠鏡で、その季節や時間帯に見られる星を観望します。悪天候時は中止です。

日時 毎週土曜日  
午後6時～、7時～、8時～の3回

### 問い合わせは 科学センター

(☎42-1600)へ

- 12月の休館日 5日(月)、12日(月)、19日(月)、26日(月)
- 年末年始の休館日 12月29日(木)～1月3日(火)